

広 報

# こうさ

【こうさの話題】 龍野小児童が野外体験教室

## 里山の木の実を集めてつくったよ

### CONTENTS

- 02・特集 平成26年度町決算報告
- 04・こうさの話題 県童話発表会で大瀧結衣さんが最優秀賞
- 06・町からのお知らせ 青年就農給付金の申請を受け付けます
- 08・私のおすすめ図書 田上 慎斗くん（南三箇区）
- 18・Kosa Style 甲佐高校家庭クラブ

No.556

November 2015

11

# 決算状況

町民の皆さんが町に納める税金や国・県からの補助金は、私たちの生活をより良くするために、さまざまな形で使われています。  
 これらのお金がどのくらい使われているかを知っていただくために、広報紙で決算と予算の状況をお知らせしています。  
 今月号では、平成26年度決算についてお知らせします。

## ■実質収支額は3億1,188万円の黒字

平成26年度の一般会計歳入の決算額は、69億4,918万円で、昨年と比較して1億9,097万円（約2.8割）の増加となっています。それに対して、一般会計歳出の決算額は、65億9,193万円で、前年度対比では3億1,709万円（約5.1割）の増加となりました。

当該年度の歳入額と歳出額の差額から翌年度への繰越額（事業の繰越して翌年度に使う経費）を差し引いた実質収支額は、平成26年度では3億1,188万円の黒字となりました。

決算額の主な増加要因は、財政状況が悪化して運営が危機的な状況にある国民健康保険特別会計への支援

や国の経済対策による繰越事業の実施によるものです。

決算額を町民1人当たりで計算すると、収入は62万295円です。この内訳を性質別に見ますと、町税や各種使用料など町が直接受け取る自主財源が17万4,160円、地方交付税や国・県からの補助金、町の借金である町債などの依存財源が44万6,135円となっています。一方、町民1人当たりの支出は、58万8,408円です。

歳出の内訳については、義務的経費（人件費・扶助費・公債費）が28億3,442万円（43.0割）、投資的経費（普通建設事業費）が17億5,949万円（26.7割）、その他の経費（補助費・物件費・その他）が19億9,802万円（30.3割）となっています。

## ■平成26年度一般会計・特別会計歳入歳出額

		歳入項目	歳入額	町民1人当たり
一般会計	自主財源	町税	9億0,301万円	80,604円
		繰入金	4億4,480万円	39,704円
		分担金・負担金	1億0,890万円	9,720円
		その他	4億9,441万円	44,132円
	依存財源	地方交付税	22億3,317万円	199,337円
		国庫支出金	12億0,439万円	107,506円
		町債	8億5,634万円	76,438円
		県支出金	4億9,034万円	43,769円
		その他	2億1,382万円	19,085円
		合計	69億4,918万円	620,295円

		歳出項目	歳出額	町民1人当たり
	民生費	18億0,560万円	161,171円	
	土木費	10億2,847万円	91,803円	
	教育費	8億4,610万円	75,525円	
	公債費	7億9,861万円	71,286円	
	総務費	7億7,607万円	69,273円	
	衛生費	7億5,796万円	67,657円	
	消防費	2億5,365万円	22,642円	
	農林水産業費	2億1,047万円	18,786円	
	議会費	8,278万円	7,389円	
	商工費	3,222万円	2,876円	
	災害復旧費	0万円	0円	
	合計	65億9,193万円	588,408円	

		会計名	歳入額	歳出額
特別会計		国民健康保険	19億4,794万円	18億4,055万円
		介護保険	14億0,247万円	13億3,894万円
		後期高齢者医療	1億3,583万円	1億3,373万円

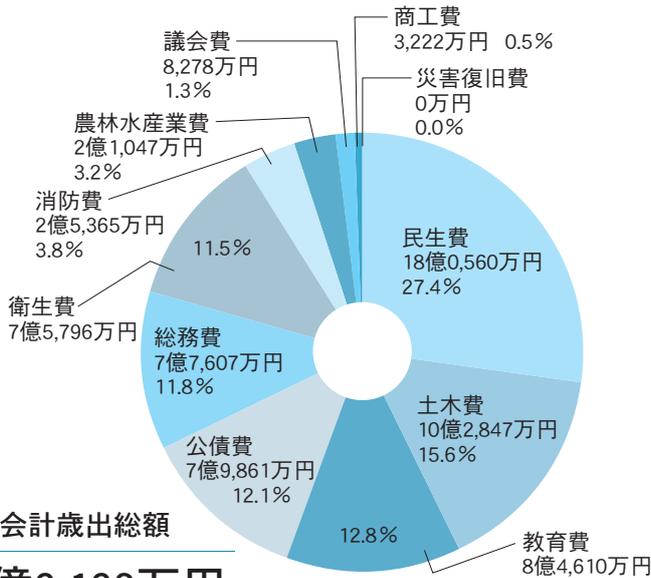
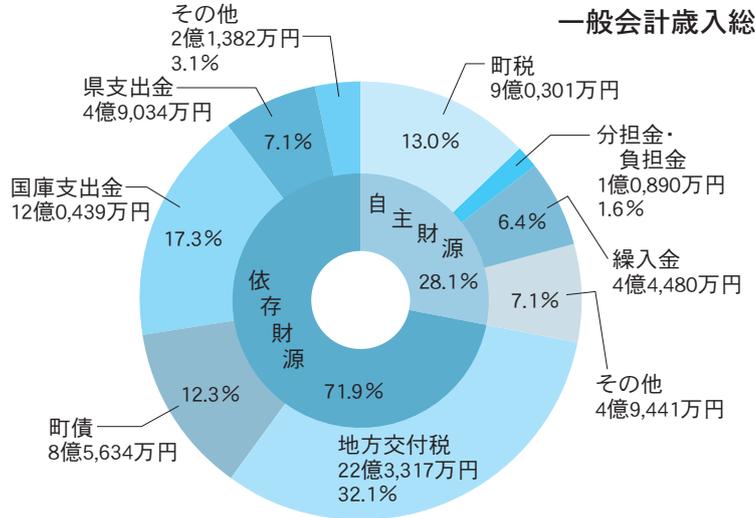
		会計名	収益的収入	収益的支出
水道事業			1億5,262万円	1億2,408万円
			資本的収入	資本的支出
			1億6,000万円	2億0,203万円

【歳入項目の説明】

- 町税 町民税や、会社の法人税など
- その他（自主財源） 施設使用料や証明書発行手数料、預金利子や前年からの繰越金など
- 分担金および負担金 町が行う特定の事業によって利益を受ける人から徴収されるもの
- 繰入金 基金を取り崩して受け入れたもの
- 地方交付税 一定の住民サービスが出来るように、各市町村の実情に応じて国から交付されるもの
- 国庫支出金 事業を行うための国からの負担金や補助金
- 町債 道路など社会資本整備のための借金
- 県支出金 事業を行うための県からの負担金や補助金
- その他（依存財源） 国から配分される地方譲与税や利子割交付金、ゴルフ場利用税などの各種交付金

69億4,918万円

一般会計歳入総額



【歳出項目の説明】

- 民生費 老人福祉や児童福祉、障がい者福祉など、町が行う福祉事業全般にかかる経費
- 土木費 町道、河川維持や整備にかかる経費
- 教育費 義務教育にかかる経費や、公民館活動・保健体育活動など社会教育にかかる経費
- 公債費 町債を毎年返済するための経費
- 総務費 町の運営や財産の管理に使った経費
- 衛生費 町民の健康のための経費や、ごみ、し尿などの処理にかかる経費
- 消防費 消防組合・消防団の運営にかかる経費や、防災にかかる経費
- 農林水産業費 各種農林業振興のための経費や、農道などの維持や整備にかかる経費
- 議会費 町議会の開催や運営にかかる経費
- 商工費 商工業振興や観光対策にかかる経費
- 災害復旧費 災害の復旧のための経費など

一般会計歳出総額

65億9,193万円

■平成26年度決算に係る財政健全化判断比率

区分	本町の健全化判断比率	早期健全化基準	財政再生基準	備考
実質赤字比率	—	15.0	20.0	一般会計などを対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
連結実質赤字比率	—	20.0	35.0	全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
実質公債費比率	6.8	25.0	35.0	一般会計などが負担する元利償還金などの標準財政規模に対する比率
将来負担比率	43.1	350.0	—	一般会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

上の一覧表は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」による指標で、財政健全化判断比率の4指標を用いて町財政の実態を明らかにします。

本町では、「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」については、一

般会計および特別会計で赤字額がないため、比率はありません。

平成26年度の本町の財政状況は、上の一覧表から分かるように、国が示した「早期健全化基準」および「財政再生基準」を下回っており、健全な状態であると言えます。



▼県童話発表会で最優秀賞を受賞した大瀧さん（龍野小6年・上早川二区）



## 県童話発表会で最優秀賞受賞

大瀧結衣さん（龍野小6年・上早川二区）

10月3日（土）熊本市南区で開催された県童話発表大会で、大瀧結衣さん（龍野小6年・上早川二区）が最優秀賞を受賞しました。

児童が童話に親しんだり創作活動を活発にしたりする機会を設けることで、読書意欲の向上を図り豊かな人間性をはぐくむことを目的に、県立図書館が主催。県内地区予選から選ばれた23人が、それぞれ表現力豊かな童話発表を行いました。

大瀧さんは、9月に開催された郡大会で最優秀賞を受賞し、郡代表として出場。『クワガタと少年』（大村あつし著）を個性豊かに発表し、県大会でも最優秀賞に輝きました。

週に2〜3冊ほど本を読んでいるという大瀧さんは、「主人公の気持ちになつて発表しました。発表しているとき、涙を流しながら感動している観客の人もいて、とてもうれしかったです。最優秀賞を受賞できていい思い出になりました」と話しました。

## 自然に触れてはぐくむ心

龍野小が上早川の鳴山で野外体験教室

10月21日（水）上早川の鳴山（しぎやま）で、龍野小学校（佐藤敬之校長132人）の自然学習会が開催されました。

同教室は、児童たちが自然に触れて豊かな心をはぐくむことを目的に同小が主催。地元住民で結成された里山クラブ鳴やま（井藤直行会長）の指導の下、まき割り体験や竹の箸と器づくり、野山の木の実を集めて紙皿に貼り付けるクラフトパンチなどで楽しみました。

野外体験した児童たちは「竜野の自然の中で遊べて、楽しかったです」と話しました。



▲上早川の鳴山の作業場でまき割りを体験する児童たち



◀寸劇を披露する甲佐町男女共同参画社会推進懇話会

## 互いが尊重し合える社会へ

男女共同参画啓発イベントを本町で開催

10月3日（土）町生涯学習センターで、郡内5町による男女共同参画についての啓発イベント「男女共同参画を考えよう！第4回上益城大会inこうさ」が開催されました。

同イベントは、上益城地域における男女共同参画社会についてより多くの人に周知するとともに、事業に対する積極的な参加を促すことを目的として、上益城地域男女共同参画連絡会議が主催。町内外から約100人が参加して、なごみ大鼓の演奏をオープニングに、甲佐町男女共同参画社会推進懇話会による寸劇やフリーアナウンサーの野田亜紅さんによる基調講演などが行われました。

## 草刈りで道路の安全を

甲佐町建設業協会がボランティア活動

10月23日（金）町内各地で、甲佐町建設業協会（山形學会長）が道路の草刈りボランティアに取り組みました。

町内の建設業者で構成される同協会の社会貢献活動の一環として、各社から20人が参加。2班に分かれて、県道今吉野甲佐線や甲佐大橋周辺などで草刈りを実施しました。

役場駐車場で行われた出発式で、山形会長は「災害時の支援をはじめとして、町内の住民に皆さんのために貢献できるように活動しましょう」とあいさつしました。



▲道路の草刈りボランティアに務める協会会員の皆さん



▲幼児交通安全クラブの寸劇による交通安全教室

## 交通安全を学んで守ろう

竜野保育園で保護者らによる交通安全教室

10月27日（火）竜野保育園で、交通安全教室が開催されました。同園（吉本征一郎園長）では、20数年前から保護者による幼児交通安全クラブ「ママがまもる隊」を結成。毎年、同隊メンバーが交通安全教育に関する研修会を受講して教室開催に取り組み、園児たちに交通ルールやマナーなどを楽しく学べるように、人形劇やペープサート、寸劇などを披露しています。

今年も交通安全に注意することや信号機クイズなどを親子などにふんじた寸劇で演じ、盛りだくさんの内容を園児たちは楽しく学びました。

## 若者でにぎわう秋の催し

「甲佐蚤（のみ）の市」を商工会青年部が主催



▲町内外から約80団体が出店して開催された「陽気マルシェ・甲佐蚤（のみ）の市」。多くの若者たちが来場し、にぎわいを見せる市街地

10月4日（日）市街地の井手川周辺で、「陽気マルシェ・甲佐蚤（のみ）の市」が開催されました。

空き家や空き店舗が目立つ商店街の活性化などを目的に甲佐町商工会青年部（大滝祐輔部長）が主催し、今回で3回目。町内外の店舗などから日用雑貨やアクセサリ、家具、衣料品、陶芸品、飲食店など約80団体が出店。各地から訪れた来場者は、市街地の風景や井手川のある町並みを楽しみながら、出店者の商品や作品などを手に取ったり品定めをしたり、店主との会話を楽しんだりして、甲佐町の秋の催しを満喫しました。

会場では、大道芸人やアコースティックバンドの「ゲリラライブ」や豪華賞品が当たる抽選会も開催され大盛況。また、町内の名所を巡る観光バスツアーなども企画され、大いににぎわいを見せました。

熊本市から訪れた20代の女性は「雑貨や陶器などの掘り出し物を見付けられて楽しかったです。次回もまた来場したいです」と話しました。

## 農業

### 青年就農給付金受給者を募集しています



詳しくは町産業振興課にお問い合わせください

#### ■「青年就農給付金」受給者の募集について

「青年就農給付金」とは、青年の就業意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的として、国から新規就農者に対して給付金を支給する制度です。

##### ●青年就農給付金「経営開始型」

【内容】 農業を始めてから経営が安定するまでの期間（最長5年間）に給付するもの

##### 【給付額】

最大150万円／年（最長5年間）

##### 【要件】

・独立・自営就農時点の年齢が、原則45歳未満（平成23年4月以降の独立・自営就農が対象）

・前年の所得が350万円未満（初年度を除く）

##### 【受給要件】

・「人・農地プラン」に位置づけられること

・農地の所有権または利用権を給付対象者が有していること

・主要な機械・施設を給付対象者が所有または借りていること

・生産物や生産資材などを給付対象者の名義で出荷・取引すること

・給付対象者の農産物などの売上などの経営収支について、給付対象者名義の通帳および帳簿で管理すること

##### ●青年就農給付金「準備型」

##### 【内容】

県が指定した農業研修機関で研修を受ける場合、研修期間などに必要な準備金を給付するもの

##### 【給付額】

150万円／年（最長2年間）

◎青年就農給付金には、記載した要件以外にも条件や制限がありますのでお問い合わせください。

##### 【受付期間】

随時受け付けます。

※予算の関係上、承認後すぐに給付されるものではありませんのでご注意ください。

## 国民健康保険

### ■国民健康保険財政の危機を救うためには医療費削減が重要

国民健康保険の運営は全国的に大変厳しい状況にあります。本町も例外ではありません。町国保の財政（単年度収支）は、平成24年度3,600万円の赤字、25年度7,600万円の赤字と連続赤字を計上しています。平成26年度には、6,000万円の赤字と前年と比べ額は減少していますが、赤字にあることは変わりなく極めて厳しい状況です。

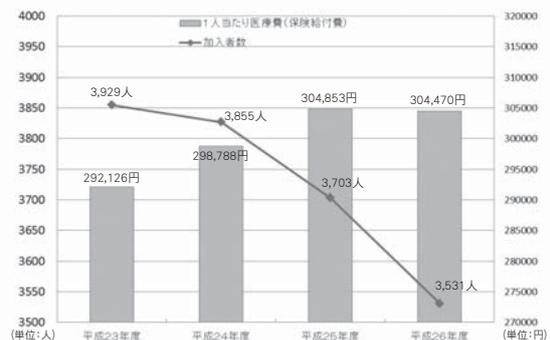
#### ●町国保加入者の医療費（保険給付費）は増加傾向にあります

町国保財政をひっ迫させている原因の1つに、国民健康保険加入者1人当たりの医療費（保険給付費）の増加があります。

下図は、町国民健康保険の加入者数と1人当たり医療費（保険給付費）の推移を表したものです。加入者数が毎年減少しているのに対して、1人当たり医療費は平成25年度まで増加の一途でした。

平成26年度の医療費は若干減少したものの、国保財政の赤字を解消するためには、この1人当たりの医療費を抑えることが重要です。

■町国保加入者と1人当たりの医療費（保険給付費）



#### ●健診で生活習慣病を予防して自身も国保財政も健全化

本町では、生活習慣病予防のために、特定健診の受診を勧められています。健診を受けることで、自覚症状に現れない自分の健康状態も分かり、脳こうそくや心筋こうそくなど重症化して医療費が多く掛かってしまう前に予防することができます。

生活習慣病の予防は医療費の抑制にもつながります。年に1度は必ず健診を受け、自分の健康状態を確認し国保財政の健全化を目指しましょう。

国民年金

社会保険料控除証明書が  
今月から送付されます



控除証明書は確定申告などの際に必要です

■国民年金保険料の控除証明書は  
大切に保管してください

国民年金保険料は、所得税および住民税の申告において全額が社会保険料控除の対象となります。その年の1月1日から12月31日までに納付した保険料が対象です。この控除を受けるためには、納付したことを証明する書類の添付が義務付けられています。

このため、平成27年1月1日から9月30日までの間に国民年金保険料を納付した人については、「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が11月上旬に日本年金機構本部から送付されます。年末調整や確定申告の際には必ずこの証明書（または領収証書）を添付してください。

10月1日（木）から12月31日（木）までの間に、今年初めて保険料を納付した人については、翌年の2月上旬に送付されます。控除証明書についてのご照会は、控除証明書のはがきに表示されている電話番号にお問い合わせください。

●保険料は、納期限内にきちんと納めましょう。

税法上とても有利な国民年金は、老後はもちろん不慮の事故など万一のときにも心強い味方となる制度です。保険料は納め忘れのないようきちんと納めましょう。

●11月30日（月）は「年金の日」

11月30日（月）は、ご自身の年金記録や年金受給見込み額を確認し、老後の生活設計に思いをめぐらしていただく「年金の日」です。ぜひこの機会に、年金記録照会や年金見込額の試算などのさまざまなサービスをインターネットやスマートフォンなどでいつでも無料で利用できる「ねんきんネット」にご登録ください。

▼ねんきんネット

URL [http://www.nenkin.go.jp/n\\_net/](http://www.nenkin.go.jp/n_net/)

町住民生活課 ☎096-234-1113（内線 104） ✉klg106@town.kosa.lg.jp

男女共同参画

■11月は「ドメスティック・バイオレンス防止推進月間」

ドメスティックバイオレンス（DV）とは、配偶者や交際相手など身近な関係にある人からの暴力で、あらゆる暴力を用いて相手を支配しようとする行為のことです。

また、DVを目撃した子どもは心に大きな傷を負います。「児童虐待の防止等に関する法律」では、子どもの目の前でDVが行われることは、児童虐待にあたるとされています。

し続ける、交友関係を制限する、性的行為を強要する、避妊に協力しないなど、さまざまなものがあります。

相手との関係が「つらい」「なにかおかしい」と感じていたら、ひとりで悩まず一度ご相談ください。

■DVに関する相談窓口

DVに関する相談は、電話での相談を受け付ける「DV相談ナビ」や町でも受け付けていますのでぜひご利用ください。

▼DV相談ナビ

☎0570・0・552110

※発信場所からお近くの相談窓口  
に電話が転送されます。

※固定電話からだけでなく、携帯電話、PHSおよびIP電話（一部を除きます）からもつながります。

▼お問い合わせ先

・町福祉課（DVについて）

☎096・234・1114

（内線144）

✉klg205@town.kosa.lg.jp

・町総務課（男女共同参画について）

☎096・234・1140

（内線222）

✉klg202@town.kosa.lg.jp

ドメスティック・バイオレンス防止推進月間



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

町総務課 ☎096-234-1140（内線 222） ✉klg202@town.kosa.lg.jp

### Library Information

#### 図書室からのお知らせ

##### ■本の入荷について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などがありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

● 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先  
町生涯学習センター図書室  
☎096-234-2447(内線331)  
✉klg110@town.kosa.lg.jp

#### 成功・幸福の価値観を追い求める 桂 望実著 / 『ワクチンX』



実業之日本社  
小説

性格を変えられる、または補強できるワクチンで理想の人間になれる。そんな夢のようなワクチンを開発し、会社を起こした加藤翔子は大成功したが、ある日突然、ワクチンの製造ができなくなる。その効果は20年で切れるのにどうするのか…。自分だったらどのワクチンをと、つい考えてしまいます。価値観を揺さ振られる1冊です。

#### 「命」を学び「こころ」をはぐくむ 大野 正人著 / 『命はどうしてたいせつなの?』



汐文社  
児童書

命は大切。でも、人は命をうばって食べる。命は大切。でも、ときに人は、自分の命すら大切にできない。どうして?子どもたちに訪れる「こころの壁」に向き合い、こころを強くするヒントが見つかった絵本シリーズ。ものごとの「本質」をとらえ、自分で考える「こころ」をはぐくみます。子どもはもちろん大人にも読んでほしい絵本です。

#### 人間味豊かな妻と夫の日常を描く 小川 有里著 / 『強いおばさん弱いおじさん』



毎日新聞出版  
一般書

女性の平均寿命が85歳を超えた今、老いを受け入れながらもいずれ訪れる「おひとりさま」生活への心構えや、「サラリーマン」引退後の伴侶との生活を快適に過ごすための知恵がちりばめられています。寄りながらも、たくましく生きるシニア世代の妻の本音、夫の本音がたっぷり詰まったおすすめの爆笑エッセイです。

#### 感染症を防いで毎日楽しく過ごす 竹田 美文監修 / 『身近な感染症こわい感染症』



日東書院本社  
教育・娯楽

インフルエンザやノロウイルスなどの感染症に気を付けなければならぬ季節がやってきました。身近な感染症についても、知っているようで実は知らないことがいっぱい。正しく「感染症」について知りしっかりと予防と対策ができるよう、分かりやすく具体的に解説されています。この本を読んで、わが家の衛生管理者になってみませんか。

#### 町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

この本の主人公は、テール氏です。テール氏は80階建てビルの72階に住んでいます。テール氏は、朝起きるときに時計が「起きてください。起きてください」と連呼します。それでも起きないときは壁から手が出てきます。いわゆるマジックハンドです。それがテール氏を抱えあげテール氏を浴室へ運び、シャワーを浴びさせます。

#### 今月の案内人



田上 慎斗くん  
〔南三箇区〕

シャワーを浴び終わると食事が用意されています。テール氏は、マジックハンドのおかげで家事な

#### ～ My Favorite Story ～

Read This Story!

### 私のおすすめ図書

#### 『ゆきとどいた生活』(星新一著)

ロボットが人間の身の周りのすべての世話をする近未来。便利になりすぎた世界に「心」はあるのだろうか。急展開なストーリーがたまらない1冊。

どしなくてもいいのです。

テール氏の出勤時刻が近づいてきています。マジックハンドはテール氏をプラスチック張りの移動車に乗せ見送ります。

仕事場に着きました。同僚が声をかけてもテール氏は何も答えずじっとしています。同僚が手を触るとテール氏は死んでいたのです。

死後10時間でした。マジックハンドは起きなかったことに構

わず送ったのか不思議です。この星新一さんの作品はとてもおもしろいです。

#### ●あなたの「おすすめ図書」をご紹介してみませんか?

町生涯学習センター図書室

☎096-234-2447(内線331)

✉klg110@town.kosa.lg.jp

### ▶ 町民大学のご案内

#### 講演会「電気事故を防ぐには」

町民大学では、講演会を開催します。たくさんの皆様のご来場をお待ちしています。

- 開催期日  
11月18日（水）午前10時
- 会場  
町生涯学習センター・ホール
- 講演  
演題「おうちの中で電気事故をふせぐには」
- 講師  
網田友香さん（九州電力㈱熊本東営業所ホームアドバイザー）
- お問い合わせ先  
町教育委員会公民館事務局  
☎096-234-2447（内線321）

- 公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先  
町教育委員会公民館事務局  
☎096-234-2447（内線321）  
✉klg110@town.kosa.lg.jp

### ◀ 第2回町民大学 グラウンド・ゴルフ大会

9月30日（水）安津橋健康広場グラウンド・ゴルフ場「グリーンパール甲佐」で、第2回町民大学「グラウンド・ゴルフ大会」を開催しました。



▲交流を深めながらグラウンド・ゴルフを楽しむ参加者

参加者30人は、さわやか

な秋風の吹く中、3コースを回り練習の成果を発揮しました。額に心地よい汗を浮かべ和気あいあいとプレ

イを楽しみ、ホールインワンが出るたびに歓声が上がって盛り上がりました。

#### ●上位入賞者

- 男性
- 1位 井上保行（上早川二区）
- 2位 野々口春幸（府領区）
- 3位 荒瀬親一（岩下二区）
- 女性
- 1位 中嶋テル子（中横田区）
- 2位 藤本加代子（緑町区）
- 3位 本田美代子（上早川二区）

#### ◀ 公民館主催講座

#### 「洞窟探検をしよう」

10月17日（土）公民館主催講座「子ども講座」で、豊内の軍需工場跡地の洞窟（どうくつ）探検をしました。参加した14人は、長靴をはき懐中電灯を持って探検隊員の気分で真っ暗な洞窟を探検。初めはどんな生き



▲暗い洞窟を懐中電灯で照らしながら探検する子どもたち

物が出て来るかと不安な表情を浮かべていましたが、慣れてくると興味津々でいくつかの脇道まで電気を照

らし、天井にぶら下がっているコウモリやゲジゲジを観察しました。探検後には、町生涯学習センター図書室で探検中に見つけた生き物などの特徴を図鑑で調べました。子どもたちは「初めてコウモリを見ました。かわいかったです」と話しました。

## Human Rights

### 人権 ～心豊かに暮らすために～

#### ●上益城地区社会人権教育研究集会 「いのちをつなぐ」講演を開催

9月28日（月）御船町で、上益城地区社会人権教育研究集会が開催され、啓発映画「あなたに伝えたいこと」の上映とNPO法人「命をつなぐ会」代表理事・高濱伸一さんが「子どもたちのいのちにありがとう」と題し講演しました。

啓発映画では、インターネットでの差別的な書き込みで現在も根強く残る結婚差別について描かれ、講演会では、講師の高濱さんが大学生だった息子さんを亡くし、その当時

人から言われてとても辛かった言葉を紹介しました。

高濱さんは「1つは、強く励ます言葉『がんばりなさいよ』とか、他人と比べるような言葉で、たとえば『もっと不幸な人がいるのよ』とか『あなただけが悲しいのではないんですよ』というようなことです」と振り返りました。「反対に励まされた言葉は『自分を責めなくていいんですよ』と見守ってくれた人、私の話を黙って聞いてくれた人など、側にいてくれただけで嬉しく、とても助けられました」と話しました。

最後に「幸せの感じ方は1人ひと

り違います。私は、お金も大きな車もありません。息子が好きだったハンバーグを私が作って食べさせてあげられたら…それが一番の幸せだと思います」。いくつもの悲しみや苦しみを経験された高濱さんに、「本当の幸せ」とは何かを考えるよい機会をあたえて頂きました。また、自分の命に「ありがとう」と思える講演会でした。

#### ●人権に関するお問い合わせ先

- 町教育委員会社会教育課  
☎096-234-2447（内線324）  
✉klg110@town.kosa.lg.jp

# がん検診と生活習慣の改善で がんから自分を守るう！

◆がんを防ぐには日ごろの生活の見直しと検診受診が重要

人間の体は全て細胞でできています。細胞は普通に生活しているだけで、刺激やさまざまな物質にさらされていますが、刺激などで傷ついた細胞は、自己回復し元通りになる力を持っています。

しかし、その回復力を超えるダメージを受け、さらにダメージが重なったり大きくなったりすると、傷ついた細胞ががん細胞に変化することがあります。

●がん細胞はどんどん増殖します

がん細胞は、初めはゆっくりと時間をかけて増殖し、小さな腫瘍

(しゅよう)や粘膜の変化を起こ

します。がん細胞の増殖は止まることなく、時間が経つほど増殖のスピードは速くなります。また、がん細胞は周囲に広がったり、ほかの場所に転移したりして、次から次へと新しいがん細胞を作りま

●日本人のためのがん予防法

国民の2人に1人ががんに掛かり、3人に1人が亡くなると言われていますが、多くの研究から生活習慣や生活環境の見直しによって予防できることが分かっています。

○がんを防ぐための12か条

- ① たばこは吸わない
  - ② 他人のたばこの煙をできるだけ避ける
  - ③ お酒はほどほどに
  - ④ バランスのとれた食生活を
  - ⑤ 塩辛い食品は控えめに
  - ⑥ 野菜や果物は豊富に
  - ⑦ 適度に運動
  - ⑧ 適切な体重維持
  - ⑨ ウイルスや細菌の感染予防と治療
  - ⑩ 定期的ながん検診を
  - ⑪ 身体の異常に気がついたら、すぐに受診を
  - ⑫ 正しいがん情報でがんを知ることから
- 全部位のがんの約3分の1は喫煙が関係しているという報告もあり、たばこを避けることでがん発症の危険性がぐんと低くなります。
- またバランスのよい食事や適度

な飲酒・身体活動は、がん予防のみでなく、ほかの生活習慣病の予防にもつながります。がんになるとどのような自覚症状があるのか、どんな予防法や治療法があるのかなど、がんを身近な病気ととらえることが大切です。

現在のがん検診によって早期発見ができるがんの大きさは約1センチです。1センチのがんができるまでには10〜20年かかりますが、その後は短い期間で何倍にも大きくなります。

がんを身近な病気ととらえて、毎年がん検診を受診し、がんから自分を守りましょう。

●町ではがん検診を実施します

- がん検診期間  
11月26日(木)〜30日(月)
- 受け付け時間  
午前7時30分〜午前11時
- 場所  
町総合保健福祉センター
- 検診項目  
胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、子宮頸(けい)がん検診、乳がん検診、腹部超音波検診、前立腺がん検診、肝炎ウイルス検査

年齢・性別によって受診できる検査項目が異なります。まだ申し込みが済んでない人も追加での申し込みを受け付けていますので、詳しくはお問い合わせください。

## あゆみだより

### がん

### の話

このコーナーでは、毎月、町総合保健福祉センター職員である保健師、社会福祉士などが、健康や福祉、介護、健康診査などに関する情報をリレー形式でご紹介します。



今月の「あゆみだより」は  
藤本 佑子 保健師

体の中でゆっくりと増殖する恐ろしい病気のがん。がんを予防するには、日ごろの生活習慣の見直しと毎年がん検診を受けることが重要です。今月、町ではがん検診を実施しますので、ぜひ受診してがんから自分の体を守りましょう。

## Smile

わが家の“笑顔”をご紹介します



伊佐 海里 くん (1歳)

父・翼さん 母・めぐみさん  
(緑町区)

やっと歩けるようになり  
毎日大変です



榮 優衣香 ちゃん (1歳)

父・章二さん 母・久美子さん  
(緑町区)

我が家のアイドル!!  
みんなに愛されています

★お子さんの成長の記念として、“笑顔”の写真を『広報こうさ』紙面に飾っていませんか？写真掲載のお申し込みは、町総合保健福祉センターまで。

●お子さんの“笑顔”の写真掲載に関するお申し込み・お問い合わせ先  
町総合保健福祉センター  
☎096-235-8711  
✉klg113@town.kosa.lg.jp

## Child-Care

11月の子育て支援カレンダー

### ○ 甲佐保育園 ☎096-234-0186

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

### ○ 若草保育園 ☎096-234-0013

6日(金) お庭で遊ぼう

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

### ○ 竜野保育園 ☎096-234-0519

11日(水) 誕生会

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

### ○ 乙女保育園 ☎096-234-3947

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

### ○ 緑川保育所 ☎096-234-0789

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

### ○ 地域子育て支援センター (竜野保育園内) ☎096-234-0305

2日(月)	戸外遊び
4日(水)	ままごと遊び
6日(金)	製作遊び
9日(月)	散歩
11日(水)	お誕生会(要予約)
13日(金)	お絵かき遊び
16日(月)	製作遊び
18日(水)	おやつ作り
20日(金)	砂場遊び
25日(水)	園外活動(恐竜公園)
27日(金)	シール遊び
30日(月)	ブロック遊び

育児相談(電話・面接)  
月～金曜日 午前9時30分～午後4時  
体験保育  
月・水・金曜日 午前9時30分～正午

## 11・12月の保健活動

●会場 町総合保健福祉センター

### + 4か月児健診

11月19日(木) 午前9時

12月17日(木) 午前9時

### + 7か月児健診

11月19日(木) 午前10時

12月17日(木) 午前10時

### + 10か月児教室

12月4日(金) 午前9時30分

### + 1歳6か月児健診

11月10日(火) 午後1時

12月8日(火) 午後1時

### + 2歳児子育て相談

11月13日(金) 午前9時30分

### + 3歳児健診

11月10日(火) 午後1時20分

12月8日(火) 午後1時20分

### + BCG予防接種

11月17日(火) 午後1時30分

●健康や福祉、介護、健康診断などに関するご相談・お問い合わせ先

・町総合保健福祉センター  
・町地域包括支援センター  
(町総合保健福祉センター内)

☎096-235-8711

✉klg113@town.kosa.lg.jp

●行事などに関する詳しい内容は、各園に直接お問い合わせください。

お知らせ

児童虐待は社会全体で解決すべき問題です

11月は、児童虐待防止推進月間です。

児童虐待には、身体的虐待（殴る、けるなど）、性的虐待（子どもへの性的行為、性的行為を見せるなど）、ネグレクト（家に閉じ込める、食事を与えないなど）、心理的虐待（言葉による脅し、子どもの目の前で家族に暴力をふるうなど）があります。

赤ちゃんが泣き止まないときにイライラして激しく揺さぶってしまうことはないですか。そうすると頭（脳や網膜）に損傷を受け重い障害が残ったり命を落としたりすることもあります。そんなときは赤ちゃんを安全な場所に寝かせ、その場を少しの間でも

お問い合わせ先一覧

- 町役場  
☎096-234-1111（代表）
- 町教育委員会  
（町生涯学習センター）  
☎096-234-2447（代表）
- 町総合保健福祉センター  
☎096-235-8711
- 町水道管理センター  
☎096-234-0755
- 町民センター  
☎096-234-2459
- 町学校給食センター  
☎096-234-0255
- 町老人憩いの家  
（社）甲佐町社会福祉協議会  
☎096-234-0423
- 御船町甲佐町衛生施設組合  
（クリーンセンター）  
☎096-282-0688
- 上益城消防署  
☎096-282-1955
- 御船警察署  
☎096-282-1110
- 上益城広域連合  
☎096-237-2891
- 県上益城地域振興局  
☎096-282-2111
- 県御船保健所  
☎096-282-0016
- 県庁  
☎096-383-1111

離れて自分をリラックスさせましょう。虐待を受けたと思われる子どもがいたり、ご自身が出産や子育てに悩んだりしたら、児童相談所や市町村の窓口へ連絡・相談ください。▼ご相談・お問い合わせ先

- 町福祉課  
☎096-234-1114  
（内線146）  
✉k1g205@town.kosa.lg.jp
- 町総合保健福祉センター  
☎096-235-8711  
✉k1g113@town.kosa.lg.jp
- 児童相談所全国共通3桁ダイヤル  
☎189

臨時福祉給付金の申請はお済みですか

町福祉課では、平成26年4月からの消費税率の引き上げに伴い、低所得者への影響を考慮し、臨時的な措置として支給される「臨時福祉給付金」の支給申請を受け付けています。

給付の対象となる人で、まだ手続きが済んでいない人は、期限までに申請をお願いします。

申請期限

平成28年1月29日（金）

※給付の対象となる人には、8月に申請書を送付していただきます。

申請・お問い合わせ先

- 町福祉課  
☎096-234-1114  
（内線144）  
✉k1g205@town.kosa.lg.jp

マイナンバー通知カードの送付時期について

社会保障・番号制度（マイナンバー制度）の施行により、「個人番号（マイナンバー）通知カード」が11月中旬以降に住民票の住所地に郵送されます。

先日、各世帯に配布しましたマイナンバーに関するチラシにて、10月中旬に「個人番

号（マイナンバー）通知カード」が送付されるとお知らせしましたが、送付機関連である地方公共団体情報システム機構において発送準備に時間を要しているため、訂正してお知らせします。

「個人番号（マイナンバー）通知カード」についての詳しいことは、町住民生活課にお問い合わせください。

お問い合わせ先

- 町住民生活課  
☎096-234-1113  
（内線102）  
✉k1g106@town.kosa.lg.jp

女性の権利ホットライン強化週間を実施します

女性をめぐるさまざまな人権問題を解決するために、全国一斉「女性の権利ホットライン」強化週間を実施します。

期間中、地方事務局および県人権擁護委員連合会では、電話相談窓口を開設します。

日曜当番医

月日	当番医	電話番号
11月1日	桃崎整形外科	☎096-235-8111
11月8日	荒瀬病院	☎096-234-1161
11月15日	谷田病院	☎096-234-1248
11月22日	小屋迫医院	☎096-234-0165
11月29日	荒瀬病院	☎096-235-1161

町税などの滞納処分（9月分）

種別	件数・金額など
家宅捜索	2件
動産差し押さえ	14点
交付要求	0件
換価取立	507,815円

古きを訪ねて甲佐町を知る

## 甲佐町の文化財探訪 ～第28回～

「国士西村展蔵顕彰碑（敬称略）」① 清村一男 町文化財保護委員（下豊内区）

仁田子に白壁の土塀に囲まれた西村家がある。その広い庭の入り口にそびえている見事な碑が国士西村展蔵顕彰碑である。



仁田子の国士西村展蔵顕彰碑

私は、終戦後、西村展蔵が郷里に帰り甲佐町の発展に尽くしていたことは、噂で知っていた。しかし、国士と呼ばれ参議院議員の迫水久常の碑文による顕彰碑がどんな意味を持つのか分からなかった。展蔵の長男・一生の著書『西村展蔵の生涯』を基に、国士と呼ばれるまでに活躍した足跡をたどることにした。

明治22年3月5日、津志田の

長田三蔵・シズの次男として生を受け、向上心の旺盛な子ども時代を過ごす。明治42年3月、熊本師範学校を抜群の成績で卒業し、同校の付属小学校に訓導として教鞭を執る。教師としての評価も高く、そのまま進めば栄光は約束されていた。しかし、教育界にとどまる意思は全く無く、明治43年、西村家のトヨと養嗣子縁組し結婚した後、大正4年に東京遊学、千駄木小学校で教鞭を執りながら、日大の法律専門部に席を置き研さんを重ねる。大正6年4月8日、長男の一生が誕生。同5月千駄木小を依願退職して郷里に帰り、同7年4月甲佐小学校の校長として迎えらる。弱冠29歳であった2年後の9年3月、同校を依願退職している。この後、展蔵は教育界から産業界に転身するが苦難の道が待ち受けていた。次回につづく。

■お問い合わせ先 町教育委員会社会教育課

☎096-234-2447（内線322） ✉klg110@town.kosa.lg.jp

▼実施期間  
11月16日（月）～20日（金）  
午前8時30分～午後7時  
11月21日（土）・22日（日）  
午前10時～午後5時

▼電話相談  
「女性の人権ホットライン」  
☎0570・070・810

▼相談担当者  
人権擁護委員、法務局職員

▼相談内容  
夫やパートナーからの暴力、ストーカー行為による被害、職場などにおけるセクシュアル・ハラスメントなど女性をめぐる人権問題

※相談内容は堅く守られます。お気軽にご相談ください。

▼お問い合わせ先  
熊本地方法務局人権擁護課

☎096・364・2145  
（内線414）

不要になった水銀体温計  
や水銀血圧計を回収します

県では、水銀の流出による環境汚染を防止するために、現在使用していない水銀体温計と水銀血圧計を回収するキャンペーンを実施します。

12月に町環境衛生課窓口に回収ボックスを設置しますので、ご家庭などで不要な水銀体温計や水銀血圧計がありましたら、回収にご協力をお願いします。

※電子式の体温計・血圧計は対象外です。

※事業所からの持ち込みはできません。

▼お問い合わせ先  
県廃棄物対策課  
☎096・333・2278

## 3 お礼

### ふるさと甲佐応援寄附金

「ふるさと甲佐応援寄附金」にご協力いただき、誠にありがとうございました。

町では、心温まるご好意を町の振興のために大切に使用させていただきます。引き続き多くの皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

▼平成27年度寄附金額合計  
410,000円

▼お申し込み・お問い合わせ先  
（10月15日現在）  
町総務課

☎096・234・1140  
（内線224）

✉klg102@town.kosa.lg.jp

### environmental preservation

## クリーンセンターへのごみ搬入量（9月分）

種別	搬入量	前月比較	前年比較
可燃ごみ	208,790	△8,640	△1,670
資源ごみ	25,840	△4,120	3,990
粗大ごみ	7,090	2,110	250
合計	241,720	△10,650	6,630

※単位・t

### traffic safety

## 交通事故件数

種別	発生件数	前年比較
事故件数	14	(1)
死者	0	(△2)
傷者	18	(2)

10月15日現在（カッコ内は前年比較）

### fire prevention

## 出動火災件数

種別	発生件数	前年比較
家屋	1	(0)
原野	1	(△3)
その他	0	(0)
合計件数	2	(△3)

10月15日現在（カッコ内は前年比較）

# お知らせ

12月1日は世界エイズデー  
無料検査を11月26日実施

県では、12月1日(火)の世界エイズデーの前後に、HIV検査を拡充して実施します。

エイズはHIVというウイルスに感染して起こる病気です。感染から発病するまで数年の潜伏期間があり、感染していても早期に発見し治療を始めることで、発病を予防することができます。

## ●検査の拡充実施日

11月26日(木) 午後5時～午後7時

## ▼通常の検査日

毎週木曜日

午前9時～午前11時

※第1木曜日は午後5時～午後7時

## ▼お問い合わせ先

県御船保健所

☎096・282・0016

# e開催

平成27年度産業文化祭を  
11月8日(日)開催

平成27年度産業文化祭を11

月8日(日)に開催します。

## ▼開催日時

11月8日(日)

午前9時～午後4時30分

## ▼会場

町役場北側広場、町農業研修センター「ろくじ館」、町生涯学習センター

## ▼イベント内容

### ●農業祭

本町産の農産物の即売会、バナナのたき売り、ミカンのつかみ取り、搾りたて牛乳の無料サービスなど

### ●商工祭

ニラ飛ばし大会、餅投げ、本町特産のニラを使用した鍋の1,000人配布など

### ●文化祭

町生涯学習センターでのステージ発表、文芸作品の展示および体験コーナーなど

### ●そのほかのイベント

上益城消防署による救命工作車や救急車の展示や訓練の実演、AED講習など

※わかあゆコンサートは、11月7日(土)午前10時から

町生涯学習センターで開催します。

## ▼お問い合わせ先

町産業振興課

☎096・234・1176

(内線156)

✉k1g206@town.kosa.lg.jp

## 外国人講師と楽しく学べる 英会話教室を開催

町教育委員会では、甲佐高校を会場として、「甲佐町英会話教室」を開催します。

同教室では、フォニックス学習(音とスペルの関係を学ぶこと)で発音が良くなるとともに、英単語が読めるようになることが期待できる(勉強法)により英語を読む力や正しい発音を身に付けることができます。

外国人講師と異文化交流を図りながら、一緒に英会話を学んでみませんか。ぜひ、ご参加ください。

## ▼開催日時

毎週木曜日 午後4時30分～午後5時30分

※第1回は、11月12日(木)

## ▼場所

甲佐高校

## ▼対象

町内小・中学生および町内在住の人、甲佐高校生徒

## ▼受講料

無料(別途教材費が掛かる場合があります)

## ▼講師

リアム・ノーランさん(町ALIT)ほか

## ▼申し込み期限

11月10日(火)

## 12月4日(金)～10日(木)は甲佐町「人権週間」です

### ■町民集会と法律相談を開催します

12月4日(金)～10日(木)は、甲佐町「人権週間」です。

同週間は憲法で保障する基本的人権の尊重と町民の人権意識の高揚を図ることを目的に、同実行委員会、町、町教育委員会が集会やパレードなどを開催します。そのほか、町内の小中高生の啓発作品を町生涯学習センター・ホールなどに展示します。

法律相談では、弁護士が法律にまつわるさまざまな相談を受け付けますので、ぜひご利用ください。

#### ●町民集会

#### ▶開催日時

12月5日(土) 午前9時

#### ▶会場

町生涯学習センター

#### ▶内容

人権に関する講演会や作文の発表など



◀前回の町民集会の様子

#### ●法律相談

#### ▶開催日時

12月7日(月) 午前9時～正午

#### ▶会場

町民センター

#### ▶お問い合わせ先

町民センター

☎096 - 234 - 2459

✉k1g116@town.kosa.lg.jp

トピックス

● 9月27日(日)  
甲佐町史研修会を開催



9月27日(日)川平キャンプ場で『甲佐町史』歴史研修会が開催され、16人が参加しました。講師の中田雄一さん(同史生物編担当)の指導の下、昔と今の緑川を比べるために、水質検査や水の中に棲む生物などを採集。検査の結果、現在はきれいな状態だということが分かりました。

甲佐町総合型地域スポーツクラブ  
「I・YOU スポーツクラブ」  
11月のアユスポ・カレンダー



スポンジテニス  
井上 穂香さん(緑町区)  
藤本 涼子さん(同区)  
大塚 愛琉さん(同区)  
井上 菜那さん(同区)  
笑顔で楽しんでいます。一緒に遊びましょう♪

●スポンジテニス&バドミントン

甲佐小体育館 月曜日 午後7時30分

●少年柔道

甲佐中武道館「甲心館」  
月・水・金曜日 午後7時

●卓球

町生涯学習センター  
水・金曜日 午後7時30分

●サッカー教室

緑川グラウンド 木曜日 午後7時  
甲佐小グラウンド 土曜日 午前9時

●バスケットボール教室

甲佐中体育館 火曜日 午後8時

●ジュニアバスケット教室

甲佐小体育館 土曜日 午前9時

■お問い合わせ先

I・YOU(アユ)スポーツクラブ事務局  
(町教育委員会社会教育課内)  
☎096-234-2447(内線325)  
✉klg110@town.kosa.lg.jp

▼お申し込み・お問い合わせ先  
町教育委員会学校教育課  
☎096・234・0102

▼開催日時  
11月29日(日) 正午

▼内容  
・フロアイベント  
ブルーサークルメニューの試食および血糖値測定などの身体チェック(100人限定)、医療に関する相談窓口の開設、糖尿病に関する展示など

・ホールプログラム  
保育園児による高血糖予防啓発ダンス、糖尿病に関する基調講演「糖尿病のこと、本当に知っていますか」など

糖尿病予防フォーラム  
11月29日(日) 開催

県御船保健所では、上益城郡医師会市民公開講座・糖尿病予防フォーラムを開催します。

募集

熊延鉄道100周年記念  
写真展の写真を募集

▼会場  
御船町カルチャーセンター  
お問い合わせ先  
県御船保健所  
☎096・282・0016

熊延鉄道開業100周年記念写真展実行委員会では、同写真展に展示する熊延鉄道に関する写真や資料を貸していただける方を募集しています。提供いただいた写真などは、読み取ってパネル化し同写真展にて展示を行う予定です。写真提供にご協力いただければ、ぜひご連絡ください。

▼募集期限  
11月30日(月)  
※写真展での利用を無償で許諾する人に限ります。

くらし安全

振り込め詐欺が多発しています  
最近、家族や警察官などになりすまして電話で話して信用させ、多額の現金をだまし

取る「振り込め詐欺」が多発しています。  
詐欺の被害者のほとんどが「自分は大丈夫」と思っている人です。「電話でうまい話があるはずがない」ということを心に置き、不審だと思ったら振り込みをする前に、必ず家族や警察に相談しましょう。

○こんな言葉に要注意  
・「還付金があるのでATMに行つて」  
・「必ずもうかる」「あなただけ特別」  
・「名義を貸してほしい」  
・突然の息子から「金貸して」  
・「〇〇署ですが、あなたの口座が狙われています」  
○振り込め詐欺相談ホットライン  
☎096・381・2567

▼お問い合わせ先  
御船地区防犯協会連合会(御船警察署内)  
☎096・282・1110

町生涯学習センター・ギャラリーモール展のお知らせ ~11月~

●甲佐町産業文化祭作品展

▶期間 11月8日(日)~23日(月)

●お問い合わせ先

町教育委員会社会教育課  
☎096-234-2447 ✉klg110@town.kosa.lg.jp



◀10月の展示会  
乙女小学校5年生の作品



10月3日(土)オータム・ジャズ・コンサート(町生涯学習センター・ホール)

うたごよみ 霜月

「短歌」

渡辺幸士選

台風も運よく逸れて穂は実り今か今かと稲刈りを待つ 緒方 明美  
 いとなく秋は来にけり裏庭の秋明菊の蕾ふくらむ 塚原 暁益  
 露草も揃って咲けば賑やかでひとつひとつが大きな力 清田ひで子  
 散歩路に真つ赤に咲ける彼岸花風も涼しく秋の訪れ 赤星 文子  
 露天湯に迷い入り来し蜻蛉は人から人に声掛けらるる 森田 房恵  
 慣れし手でお世話下さる介護士に父は甘えて話かけ居り 赤星 延子  
 墓参して見上ぐる空に鱗雲田の畦見れば彼岸花咲く 塚本 俊子  
 離れ住む姉の電話は長々と独り暮らしを紛らわすごと 内田乃武子  
 家屋敷みな濁流に流さるるテレビ映像啞然と見おり 上村やす美  
 異常なる暑き夏にも柿の実は小さきままにたわわに実る 吉永由紀子  
 敬老の日に離れ住む孫らより「長生きしてね」とメールが届く 池田キヨ子  
 銀杏樹は空をおほいて蝉時雨ふるなか墓碑の香煙上る 上村 かず  
 嫌いだと言ってしまったちぎれ雲はてなき秋の空に漂う 渡辺 幸士

※10月号に掲載した短歌についてお詫びと訂正  
 (誤) 夏祭り大輪咲かす花火師の苦勞を思い 枝に酔いたり 池田キヨ子  
 (正) 夏祭り大輪咲かす花火師の苦勞を思い 枝に酔いたり 池田キヨ子  
 作者ならびに読者の皆様にご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫びいたします。

「川柳」

渡辺幸士選

「祭り」

豊作で祭り太鼓も良く響く 林 雅之  
 あちこちの人が集まる村祭り 古閑千ヨミ  
 歳老いて祭り囃子を遠く聞く 布田 愛子  
 夏祭り見よう見まねで踊り出す 森田千鶴子

「いろいろ」

国民のいろいろ暑さだけでない 清川みどり  
 いろいろの口実設け旅に出る 本田長久子  
 いろいろと鮎詰めの秋レストラン 安浪 アキ  
 国会の審議いろいろ募るだけ 渡辺 幸士

「肥後狂句」

北川直美選

秋ですねエ 朝昼晩で着替えなん 広田みどり  
 秋ですねエ シックなドレス見てるだけ 下山 千恵  
 秋ですねエ お腹の虫も目を覚まし 志垣 光  
 秋ですねエ 旅行のプラン練るも良し 佐藤 葵  
 秋ですねエ 夜空の星も澄んで来る 北畑 公美  
 秋ですねエ 故郷の祭り思い出す 木村 陽菜  
 秋ですねエ 吊し柿でん作ろうか 布田かんな  
 秋ですねエ 隣もサンマ焼きよらす 平井やよい  
 秋ですねエ 体重計ア嘘言わん 長原 産賀  
 秋ですねエ 雲の流れに癒さるる 佐野しよう  
 秋ですねエ 夜長の読書目の冴える 光永 六  
 秋ですねエ 意気込みむなしダイエット 井元あざみ  
 秋ですねエ ふと里心くすぐられ 北川 直美

お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局  
 096・234・2447(内線321)

# ひとの動き (敬称略)

9月11日(金)～10月10日(土)

birth			
お誕生おめでとう			
住所	氏名	性別	保護者
中横田	田上くらん	女	将
仁田子	丸山一輝	男	義輝
大町	美濃奏人	男	和行
西寒野	姉川開陸	男	藍

marriage			
ご結婚おめでとう			
	住所	氏名	
[ 夫	神奈川県	森中 将崇	
	妻	坂谷 境 沙織	
[ 夫	熊本市	阿野 遼	
	妻	船津 井芹 瑠美	

condolence			
お悔やみ申し上げます			
住所	氏名	年齢	世帯主
岩下	廣田ヤエ子	95	ヤエ子
西寒野	小島ツルエ	84	廣
大町	白梅 タツ	98	武 信
下横田	本田 波江	95	授
上揚	松村 廣人	92	君子
岩下	内山 義晴	88	タミエ
上早川	山田須磨子	75	誠 逸

data		
甲佐町の人口・世帯数		
項目	数	増減
男	5,289	△ 5
女	5,882	△ 21
計	11,171	△ 26
世帯数	4,302	△ 7

平成27年9月30日現在

## こうさの野菜で作ってみよう!



レシピ提供：料理研究家 沼田峰子さん（北原区）

### 里芋のゴマよごし

#### ご存知ですか？

ねっとりとした独特な味わいがなんとも言えない里芋の煮物は、おふくろの味の代表格とも言えますね。

里芋のぬめり成分ムチンは、消化を助ける働きがあるので毎日少しずつ取ると便秘に悩まなくて済みそうです。

また、里芋に含まれるガラクトタンは、免疫力を高めるためがん細胞の増加を抑えます。



#### 材料（4人分）

- 里芋 …………… 4～5個
- ※合わせダレ
- すり黒ゴマ …………… 大さじ 4
- 砂糖 …………… 大さじ 2
- しょうゆ …………… 大さじ 1～2
- 塩 …………… ひとつまみ

#### 作り方

- ①里芋は、よく水洗いして水気を軽く切っておきましょう。
- ②十分に湯気が上がった蒸し器で①を串がすっと通るくらいやわらかくなるまで蒸します。
- ③粗熱がとれたら皮をむき、里芋を食べやすい大きさに切ります。
- ④合わせダレの調味料は、砂糖のざらつきがなくなるまでよく混ぜておきましょう。
- ⑤里芋に④の合わせダレをからめたら出来上がりです。ゴマが偏らないように注意してくださいね。

※のどが弱い人は、里芋のぬめりがのどを刺激するので、ちょっと控えめに食べたほうが良いでしょう。

## 編集後記

秋晴れの穏やかな陽差しが、校舎の窓からあふれる廊下の影にはかみながら、歩み寄る来訪者に明るくあいさつする生徒たち。授業中の教室では、やや余り気味の机を挟んで先生と向き合い、素直に会話をつむぐ。

「今春に赴任してきて、本校の生徒たちの優しさや真っ直ぐさに、いつも癒やされているんです」と笑みがこぼれる、甲佐高校の山下由美校長。「福祉やビジネス情報、そして普通科も社会のニーズに答えられる、地域でも世界でも広く活躍できる人となるよう、甲佐町の自然と環境の良さを生かした教育で、教職員も生徒たちと共に学んでいきます」と意気に燃える。

取材を終えて正門を通り抜ける時、誰もいない校門に向かって静かに一礼し、学舎後にいる生徒たちの背中。色づき始めた校内の銀杏がまぶしい。(C)

## 地域の魅力を生かした教育で 生徒全員の光る特色を伸ばす

「特産品レシピで甲佐町をPRしたいと考えて、中でも難しいと言われるニラに挑戦してみました」と語るのは、甲佐高校家庭クラブの委員長・酒井静香さん（2年）と副委員長・上野和さん（同）。



甲佐高校家庭クラブ  
Kosa Highschool Katei Club

甲佐高校の委員会活動として、本町の特産品ニラを活用したスイーツの開発に挑戦。レシピを考案してイベントなどで披露し本町のPRに取り組む。

〔甲佐高校〕

同高の委員会の1つとして環境美化活動などに取り組みつつ、今年度はニラを使った加工食品開発に着手。かりんとうやパウンドケーキなどのレシピ作りに挑戦中。

「最初は、ニラが味と香り

を強く主張した出来で失敗ばかり」と振り返る酒井さん。しかし「回数を重ねることに柔らかな感じの風味が引き出せて、緑の色合いも鮮やかな美味しいスイーツができました」と上野さんは胸を張る。

同クラブは体育祭でのおもてなしや「甲佐蚤（のみ）の市」への参加などで、ニラのスイーツを広くPR。「美味しくなったけれど、まだまだ

改良中。来年はニラ料理にも挑戦したい」と意欲を燃やし、「11月7日（土）の甲佐高文化祭と8日（日）の町の産業文化祭でも出品するので、ぜひお越しください」と笑顔で呼び掛ける。

今年95周年を迎えた同高は、「教職員と生徒が共に成長し、一人ひとりの良さを見つけて組み合わせ、生徒全員を伸ばす「共育」を目指しています」と語る山下由美校長。伝統と特色ある新しい取り組みを調和させた教育で、昨年度から就職率も進学率も100%を達成。「地元では当たり前だと感じる甲佐町の自然や地域の良さに生徒たちが気付き、自由な発想発見で魅力を発信できる人材を育てたい」と山下校長。同高の3年間で「人として、地域と世界につながる学びを大切に」と考える。

同高の魅力を「行事に生徒全員で盛り上がるころや、先生と率直に話し合いができるころ」と2人は紹介。明るいあいさつにあふれる学び舎から、未来に向けて生徒たちは大きくはばたく。